

## 徳山医師会病院 患者数統計 本館180床 西館(療養型)126床

項目 / 年度	2018(平成30)年度	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	
在院患者延数	86,712人	84,512人	78,354人	72,414人	72,862人	
在院患者数 (1日平均)	本館	137.9人	122.6人	116.3人	102.7人	102.2人
	西館	100.0人	96.3人	98.3人	95.7人	97.3人
病床利用率 (年間%)	本館	76.6%	68.1%	64.6%	57.0%	56.8%
	西館	66.6%	64.2%	65.5%	63.8%	64.9%
平均在院日数(本館)	18.5日	18.5日	17.8日	16.3日	20.8日	
外来患者延数 (年間)	22,411人	22,551人	15,018人	15,226人	13,108人	
外来患者数 (1日平均)	57.9人	56.5人	51.2人	51.8人	49.7人	

### 栄養関連ニュース

#### 秋から冬が旬の野菜「ごぼう」

ごぼうは水溶性と不溶性の食物繊維を豊富に含み、血糖値の上昇を防いだり、便通を改善したりと、様々な作用があります。旬は10～12月で、主な産地として青森県、埼玉県、茨城県が挙げられます。その他、約2割は中国からの輸入です。実はごぼうを食用とするのは日本だけです。おいしいごぼうの見分け方としては、太めで長く、ずっしりしたものが風味も歯切れも良いと言われています。また、ごぼうは連作を嫌い、2～3年後でなければ、同じ畑では作れません。

#### ごぼうを切ると黒っぽく変色するのはなぜ？

タンニンなどのフェノール成分が、酵素の働きで黒褐色の物質に変化するためです。酵素は酸によって活性が抑えられ、加熱すると作用しなくなるので、切ったらすぐに酢水にさらすか、茹でると変色が防げます。ただし、酢水には15分以上つけると硬くなるため、注意しましょう。



引用: からだにやさしい旬の食材 野菜の本

#### お詫び

2023年第60号「栄養関連ニュース」に於いて、誤植がございました。お詫びして訂正致します。  
(誤)中東以上の (正)中等以上の

#### 《基本理念》

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

#### 《基本方針》

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



### 編集後記

5月にコロナが5類へと変わり、制限が解除されたことでイベント等が頻繁に開催され、家族や友人たちと楽しむ機会が多くなってきました。しかし、悲しいかな物価やガソリンの高騰に電気代の値上げと、安易に喜べない状況が続いています。そのレギュラーガソリンも高速道路で場所によっては1ℓ200円前後と猛威を振るっており、速やかな鎮静が望まれます。



## 徳山医師会病院だより



2023年 第61号  
発行元 地域医療支援病院  
オープンシステム  
徳山医師会病院  
〒745-8510  
周南市東山町6番28号  
TEL 0834-31-2350  
FAX 0834-31-1623  
<http://www.tokuyamaishikai.com/>

## 当院はやまぐち健康応援団の登録病院です

### やまぐち健康応援団とは

県民を対象に、食生活や運動など健康づくりの各分野で主体的な取り組みを行う事業所・団体を登録する制度です。登録団体は、県・市町や関係機関と連携・協力を図り、県民の健康づくりを支援します。健康を支え、守るための社会環境の整備された「健康のまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸を目標としています。

### 今年度のテーマも食と栄養に関するヘルシーメニューの提供

昨年、低エネルギー弁当を販売したところ、職員から大好評でした。再販を希望される声も多かったため、今年度も7月3日から7日の間、ひだまり食堂へ協力をいただき、当院の管理栄養士監修のもと、糖質と脂質を控えた低エネルギー弁当の販売を実施しました。

栄養科で作成したバランスのよい食事についてのメッセージカードをつけて販売。また食堂にパンフレットの掲示をしたり、事前に低エネルギー弁当の販売告知をポスター等で行っていただきました！



当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。  
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

# 令和5年度 新入職員へのインタビュー



徳山医師会病院に入職して半年が経過し、日々患者さまのために奮闘している新入職員に今の気持ちをインタビューしました。

Q1：今の職業を目指したきっかけは何ですか？

Q2：徳山医師会病院に入職して半年経ちましたが、今現在の感想と今後の抱負を教えてください。



看護師  
吉岡 雪乃

Q1：幼い頃から人の助けになりたい、役に立ちたいという思いがあり、小学4年生の頃に祖父が入院したのをきっかけに、看護師になりたいと思いました。親身に寄り添い笑顔で対応している看護師の姿に憧れを抱きました。

Q2：出来るようになったことも増えてきて嬉しいと思う反面、まだまだだと自分の未熟さを痛感しています。日々学びを深め、患者さんやご家族の方の声に耳を傾け、一人ひとりに寄り添いながら信頼される看護師になりたいと思います。

Q1：私はお年寄りの方と話すのが好きだったので、中学、高校の頃インターンシップで老人ホームと病院に行きました。その時に看護師さんの姿を見て、患者さんの生活を医療的、技術的に支えていることを知り、看護師になりたいと思いました。

Q2：日々業務に追われ大変ですが、入社当初より慣れてきたように思います。まだまだ自分ではできないことが多く、先輩や患者さんに迷惑をかけてしまうことが多いです。少しずつでもできることを増やし、先輩のように患者さんを支えられる看護師になりたいです。



看護師  
真田 夏希

Q1：小学生の時から看護師として働く母の姿を見て、看護師という職業に興味を持ち、憧れを抱くようになりました。また、小学5年生の時に扁桃腺の手術で入院した時に、看護師さんが親切に接して下さり、自分もこのような看護師になりたいと強く思うようになりました。

Q2：幅広い疾患の患者さんが入院しているため、覚えることも多く日々付いていくのに精一杯ですが、忙しい時間の中でも一つひとつ分からないことを先輩達が丁寧に教えて下さり、とても勉強になっています。この先も一人ひとりの患者さんにとって必要な看護とは何かを考えながら、看護師として患者さんと関わっていきたいと思います。



看護師  
田村 優尚

Q1：塾の先生に勧められたことがきっかけで、この仕事を目指しました。

Q2：疾患や実技、検査など毎日勉強することが多く大変ですが、分からないことはその都度先輩方に聞いて頑張っています。患者さんに優しく接する気持ちを忘れずに今後も頑張っていきたいです。



看護師  
渡邊 未予



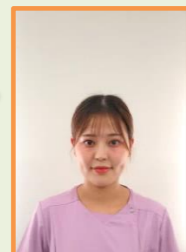
看護師  
江本 楓華

Q1：母親が私が中学生の時に看護師になった事で、看護師という職業が身近なものとなり、色々な話を聞く中で私もやってみたいと思ったからです。

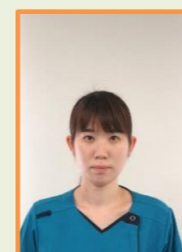
Q2：環境や看護師としての生活に慣れてきました。まだまだできないことも多く、先輩に指導をして頂きながら毎日の業務を行っており、大変なことも多いですが、やりがいを感じています。これからもっと一人でできることを増やしていき、チーム間で情報共有を行いながら患者さんにより良い看護が提供できるように頑張りたいです。

Q1：地域の人々の病気を予防し、身体的にも精神的にも健康的な生活を送ることができるよう支援したいと考え、保健師を目指しました。

Q2：保健師としても社会人としても分からないことばかりですが、日々、先輩方からたくさんのご指導をいただき、成長を感じられています。人それぞれの生活背景に合った保健指導ができるように努めていきたいと思っています。



保健師  
森脇 涼



検査技師  
川崎 奈央

Q1：中学の時の職場体験で徳山医師会病院に来たことがあり、そこで検査技師の存在を知ったのがきっかけとなり、目指すようになりました。

Q2：入社して半年が経ちましたが、まだまだ分からないことが多く、自分の未熟さを感じる毎日です。少しでもできることが増えるように、周りに頼りながら日々精進していきたいと思います。

Q1：臨床経験から、患者様の入退院を繰り返し病気に対する苦痛を感じる姿や、在宅で過ごしたいという思いを知りました。疾病予防や健康増進の重要性を感じるようになり、保健師を目指しました。

Q2：病院勤務の頃と業務内容が違い戸惑うこともありますが、先輩方に教えていただきながら充実した日々を過ごしています。今後は住み慣れた地域でその人らしく生活ができるよう、健康増進活動に取り組んでいきたいです。



地域包括支援センター  
保健師  
三畑 由依